

岡崎市民病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 頸部領域における最適な画像位置照合手法の検討

[研究責任者] 医療技術局 放射線治療室 大竹 脩太

[研究の背景]

放射線治療では、事前に撮影した治療計画用の CT 画像（以下計画用 CT）を用いて治療する位置を決定するため、日々の治療の際に実際に寝ている位置と計画用 CT 撮影時の位置が一致することが重要である。治療当日に寝ている位置は、2 方向(正面、側面)の単純 X 線画像か ConeBeamCT（以下 CBCT）の画像を用いて計画用 CT の位置に補正する。頸部領域の放射線治療では従来 2 方向の単純 X 線画像で位置合わせを行っていたが、位置合わせの基準となる骨が重なってしまい、位置合わせを行う技師によって再現性が損なわれる可能性がある。一方 CBCT は位置合わせを行いやすいが、比較的撮影線量が多くなる特徴がある。そこで再現性の向上、撮影線量の低減を目的とした CBCT の撮影条件を作成し、各照合方法と比較することで最適な撮影方法について検討する。

[研究の目的]

位置合わせの再現性と撮影線量の観点から各撮影方法の評価を行い、最適な撮影方法を検討する。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

西暦 2015 年 6 月 15 日から西暦 2021 年 12 月 31 日の間にリニアック室にて頸胸部領域に対し放射線治療を行った方

●研究期間：臨床研究審査委員会承認日から西暦 2022 年 11 月 6 日

●利用する検体

検体：計画用 CT 画像

放射線治療における位置合わせ用の照合画像（通常の診療で使用した検査結果を使用し、研究のためだけの検査は行いません。）

●検体や情報の管理

検体や情報は、当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者である大竹が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

岡崎市民病院 医療技術局 放射線治療室 大竹 脩太
444-8553 愛知県岡崎市高隆寺町字五所合3番地1
電話 0564-21-8111 FAX 0564-25-2913